

コンクリート構造物の再劣化防止 **小型犠牲陽極材**

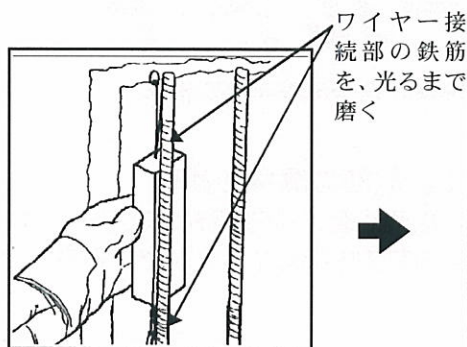
ガルバシールドF

- 材料の亜鉛自らが犠牲となって腐食することで、鉄筋の腐食を抑制
ガルバシールドFは、薄型・小型形状を特徴とした亜鉛製の犠牲陽極材であり、鉄筋と亜鉛とのイオン化傾向の違いを利用して鉄筋の腐食を抑制する材料で、鉄筋に接続するだけで効果を発揮します。
- 薄型化を図ることで、「かぶり」の小さいコンクリート構造物に適用可能
ガルバシールドFでは、厚さ 13 mmと薄型化を図ることでコンクリート構造物のかぶり部分への設置を可能としました（寸法 13×45×140 mm）。

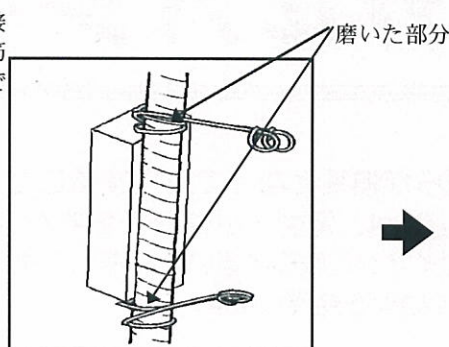


- 鉄筋に接続するだけで防食効果が得られ、容易かつ安価な鉄筋防食材料
ガルバシールドFは、電源設備不要で、鉄筋に接続するだけで防食効果が得られるため、容易かつ安価にコンクリート構造物の長寿命化を図ることが出来ることから、かぶりが小さい橋梁などの壁高欄や海洋構造物の補修工法に向いています。

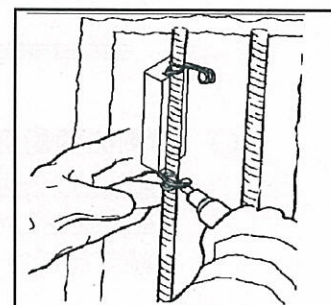
ガルバシールドF 取り付け方法説明書



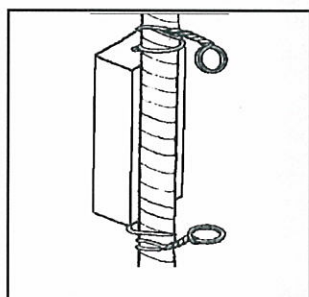
- 取付位置を（設計に基づき）決める。
- 鉄筋の異物等は全て落とす。
- サンダーでワイヤー接続部の鉄筋を光るまで磨く。



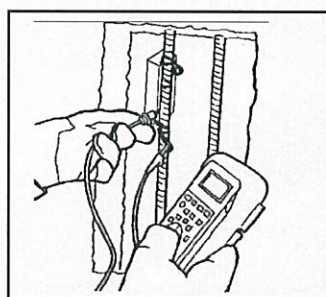
- 片方を時計回りに、もう片方を反時計回りに巻く。
- ワイヤーを可能なら2回以上巻く。



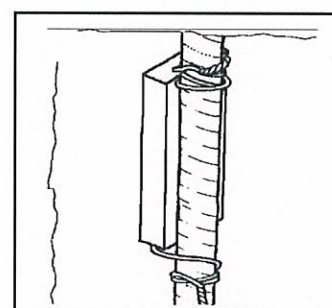
- ワイヤー先端P部にドライバー等を通し、ねじる。



- ワイヤーが手で緩まない事を確認する。
- ガルバシールドFが、しっかり固定されている事を確認する。



- テスターの Ω （抵抗計）で導通をチェックする。
- ワイヤーと鉄筋（磨き部）間で、 0.3Ω 以下になっている事を確認する。



- ねじったワイヤーを鉄筋に沿わせる。
- 修復材料（*）で復旧する前にガルバシールドFを水で充分（水を吸わなくなるまで）に濡らす。

※

- 修復材料(*)で復旧の際、ガルバシールドFを充分（水を吸わなくなるまで）に水打ちを行って下さい。
- プライマーは、鉄筋になるべく付けないようにして下さい。
- 修復材料(*)で、ガルバシールドFが最低でも2.0mm以上の厚みで覆われるように復旧して下さい。
- 防錆剤の塗布は、必要ありません。塗布により、ガルバシールドFの効果に障害が出る可能性があります。

使用上の注意

- 必ず乾燥した冷暗所で、保管して下さい。
- コンクリート構造物補修以外の用途での使用又は施工は行わないで下さい。
- 技術資料通りの施工方法で施工を行わないと、効果が発揮されなかったり危険を生じる可能性があります。厳守をお願いします。
- 弊社の修復材料（*）以外との併用は、避けて下さい。異常反応を起こしたり、効果が発揮されない場合があります。
- その他、不明な点は、弊社宛お問い合わせ頂きます様お願い致します。

（*）弊社RISシリーズポリマーセメントモルタル、スプリード、タスコシリーズ、PFモルタル、スーパーコンクリート等

警告

- 子供や第三者が触れる事の無い様、保管の事
- 使用に際しては、ゴム手袋等の保護具の着用
- 直接肌に触れない事はもちろん、本製品を触った手で皮膚（目、口を含む）に触れない事

※無断複製・複写禁止

総販売元 電気化学工業株式会社

DENKA
電気化学工業株式会社

電気化学工業株式会社

本社：東京都中央区日本橋室町2-1-1 セメント・特混事業部 特殊混和材部 電話03-5290-5363

支社：東京都中央区日本橋室町1-1-1 特殊混和材事業部 電話03-3507-5371